



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

3月の意向
【教皇様の意向のために祈りましょう】
【福音宣教】 霊的識別の養成
【日本の教会】 原発事故の記憶を保持

教区信徒協講演会 聖骸布からみる四旬節 キリストの受難と復活に聴く

2月12日(月・振休)、カテドラル大名町教会で教区信徒徒職協議会主催の講演会があった。講師は聖パウロ修道会司祭の夫津木昇師(老司教会管理者)。「キリストの受難と復活に聴く」聖骸布からみる四旬節」と題し、主の受難を想い起す黙想の時へと聴衆を招いた。大雪の影響で参加を見合わせた信徒も多くいたが、約130人が集った。



夫津木師は「神から常に発せられているメッセージを、信仰をもって注意深く聴こ

司祭叙階式のご案内

日時：3月21日(水・祝) 11時から
場所：カテドラル大名町教会
受階者：使徒ヨハネ イ・ハヌン助祭
司式者：ドミニコ宮原良治司教
☆公共交通機関でお越しください。

聖香油ミサ

日時：3月28日(受難の水曜日)15時
場所：カテドラル大名町教会
司式者：ドミニコ宮原良治司教

- ◆司祭職制定の記念でもあるミサです。福岡教区の司祭団のために共に祈りましょう。
- ◆ミサ後、今年司祭叙階60・50・25周年を迎える司祭のお祝いをいたします。

教区司祭評議会 教区「これから」を考える

2月13日(火)に教区司祭評議会が開かれ、多くの議題が取り上げられた。まず、教区目標「神のいつくしみをさらに生き、広めよう」について意見が求められ、教区長宮原良治司教は、「教区の目標に対しての積極的な取り組みが大切。実践できるような励みでほしい」と述べた。次に、福岡教区災害被災者支援室(室長 山崎三信)で作成された「被災者支援及び生活困窮者支援基金 運用規定案」が評議会で審議された。宮原司教はそれを了承し、支援室を通して各地区長に知らせ、教区民が協力するよう要請することとした。

更に、2018年6月に行われる教区全司祭の研修会について。内容は「新しく翻訳される聖書について学ぶ」ということになり、講師として和田幹男神父が推薦された。次いで、「教区創立100周年」についてであるが、各

司祭叙階式について

叙階式は、日本で行くことになりました。先輩の司祭に、日本語や日本の宣教の難しさを聞かされたので、あまり喜ばませんでした。しかし、当時の日本はキリストの教えを求め人の多い時代で、教会の活動も活発で、子ども達も沢山いました。最初は大阪教区、次は大分教区で御言葉の種を蒔くことができ、多くの実りがありました。次第に雑草や茨が広がり、種が育つには難しい状況になってきましたが、キリストに従う決心をする人は

祝司祭叙階60・50・25周年

叙階60周年 (聖ザベリオ宣教会)
叙階50周年 (福岡教区)
叙階25周年 (福岡教区)

牧山 勝美 神父 (福岡教区)
中村 信哉 神父 (福岡教区)

小さい頃から毎週土曜日の教会学校と日曜日のミサに行っていました。私がいた小

地区での今後の取り組みを待つことになった。

また、「ベトロ岐部と187殉教者の列福10周年」に関して、既に各地区で行われている殉教祭への参加を促すなど、殉教者に関する啓蒙活動を行い、教区民一人ひとりが自らの信仰を証する者となるように導くことの大切さが確認された。

最後に、1月22日から23日に行われた教区内全司祭総会を受けて、①「ハラスメント防止宣言」について司祭団への回答が報告された。宣言内容は、(宗法)カトリック福岡司教区責任役員会で承認された後、実施される。②「教会学校リーダーの集い」を教区養成教化委員会が企画することになった。③司教は教区各委員会委員長に対し、信徒に委員会スタッフとしての協力を仰ぐよう、勧めた。④「教区の日」の担当者に下町豊重神父が任命された。

時の話題 私を見つけてくださる方

「一緒に喜んでください。見失ったわたしの羊を見つけてきたから」(ルカ福音書15章6節)。

叙階を前にした今、私は自分の歩んできた今までの道を振り返ります。一匹の羊が見えませんでした。道知らず、荒野を迷える一匹の羊が、分別なく漂っていました。私は、その一匹の羊でいい、と、もう一人の人影も見えませんでした。それは、見失った羊を探しに出かけたイエス。彼が羊を探し出すために荒野を駆け回って

います。彼はいつも、変わらぬ、見失った羊を見つけ出し、戻してあげます。

振り返ってみると、私はしばしば道に迷いました。迷える子羊のごとく、当てもなかつた時の足掻き、今も目に浮かびます。しかし同時に、いつも迷える私を見つけてくださるイエスの憐れみに満ちた涙と、愛に満ちた微笑みも浮かびます。私が出会ったイエスは、決して諦めることなく、忍耐強く、私たち一人ひとりに声をかけてくださる方でした。道に迷った羊を最後まで見つけ出す善き羊飼いでした。それは、今もいつもとこしえに、変わることがないと、強く信じています。

いつも私が帰ったのではなく、その方が私を見つけてくださいます。

イ・ハヌン助祭 (韓国大邱出身)
※3月21日に司祭叙階されます。

「あつ、それだ。忘れていた。神様、思い出させてください」ということがよくある。ひどい時は1日に3回くらいある。思い出させてくれるのは、何か別のことをしている時や、関係のない人の言葉である。しかも別々のことなのに、連動してくることも多い。このような不思議な体験をまだしているという人は、「人間」というのは弱い者、小さな者だよ。謙遜になりなさい」と諭されるためなのか、「私(神)があなたの近くにいてあなただけを支えているよ。導いているよ」という神の存在に気を留め、神の偉大さを感じさせるためなのか▼「神はすべてを知り、すべてがお出来になる方」だと幼いころから教えられてきた。この全知全能なる神の存在を忘れ、「自分が自分で」という我力で行おうとするときに失敗し、落胆し、挫折感や失望感に陥ってしまう。しかし、前もって考え、計画し、「後は神様にお任せします」という時に神は助け

てくださる。もちろん、神のお考えに合ったものであればある。忘れていたことを思い出させ、事がうまく運ぶようになるのも神の支えと神のお考えがあればこそだと思ふ。だから、すべてを神に委ねよう。すべてが神の栄光につながるように祈ろう。「主よ、あなたは私を究め、私を知っておられる。座るのも立つのも知り、遠くから私の計らいを悟っておられる。私の舌がまだひと時も静かにならぬように、主よ、あなたはすべてを知っておられる。前からも後ろからも私を囲み、御手を私の上に置いてくださる」(詩編139より)。(S)

熊本地域諸宗教対話グループ主催の講話 神道とキリスト教の観点から見た大自然



講話に熱心に耳を傾ける参加者ら

1991年から種々の形で活動を行ってきた「熊本地域諸宗教対話グループ」。2月11日に、熊本の手取教会信徒会館ホールで神道とキリスト教の自然観についての講話を開催し、約50人が参加した。カトリック側からS・フランコ神父と聖ザベリオ宣教会・真命山院長が講話。神道側からは、予定していた神主が急に出席出来なくなったので、園田善昭神父(コンベンツアル聖フランシスコ会)がその代わりに神道の立場を説

明した。講話に続き質疑応答が行われた。参加しての学びを泉キリ江修道女(シヨフアイユの幼きイエズス修道会)に報告していただいた。

カトリックの自然観は聖書の初めの「神は天と地を造られた」とのことばを出発点におく。天と地は、わたしのものではない。贈物である。同時にこの贈物は造られた方の思いが秘められたものであり、贈物を通して常に造り主との関係を保ちながら使用する使命が与えられている。

他方、神道という自然は「神につくられたもの」の意がすである。よって、これは祭りとして現わされる。八百万の神の祭りがあがるが、祭りは天つ神の意図(命令)を人々に伝え、報告するという内容が含まれる。祝詞の中には、「下さり」のことはない。天つ神(天主)を最高に賛美し、神の御心のままに、山川草木みな兄弟の意が蔵され

秘跡について② 洗礼の意味

「洗礼」という言葉は罪の汚れを洗い清める儀式という印象を与えがちで、それは誤りではないのですが、私たちは聖パウロの「私たちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかる者となりました。それはキリストが復活させられたように私たちが新しい命に生きるためなのです」(ローマ6:4)という教えに耳を傾けたいと思います。「バプテスマ」というギリシャ語は「沈める」「浸す」という動詞から来ていますが、私たちは洗礼によって真実にキリストと一体

になり、キリストと共に死に、葬られ、復活したキリストのように新しい命に生きる者となる、という信仰を「洗礼」理解の中心に据えることが大事だと思えます。

いま「信仰」という言葉を使いましたが、洗礼をともに「信仰の秘跡」と呼ぶのは教会の長い伝統です。私たちは洗礼を授けられてキリスト信者の共同体である教会の一員となり、信仰を宣言するのだから、洗礼を「信仰の秘跡」と呼ぶのはごく当然のことだ、と考える人が多いかもしれませんが、その場合

ている。

現代社会の三つの病気に①個人主義、②グローバリズム、③民主主義をあげられ、「神なき主権はない」のことばにはつとせられた。

これらの講話の後、多くの質問が出されたが、「祭りに参加してよいのか」というようなものが多かった。その他、アシジのフランシスコの太陽

カリタスジャパン「排除の実例」募集中 排除のない多様性社会をめざして

一人ひとりが大切にされる社会の実現を目指して活動するカリタスジャパン。現在、その啓発部会では「排除のない多様性社会をめざして」をテーマに活動を行うにあたり、現状把握のために、教会内にある排除の実例、実例を募集している。多言語で受付している。今後アンケートも実施する予定。最新情報はウェブサイトで。www.caritas.jp/2018/01/18/2022/

洗礼において或る人が自らのパーソナルな信仰を宣言するという事実を「信仰の秘跡」と同一視するのであれば、それは洗礼という秘跡の意味を捉え損なった誤解です。

「信仰の秘跡」と言うときの「信仰」とは、キリストを頭とする体としての教会がそれによって生きている命であり、洗礼の秘跡においてそれを与えてくださるのはキリスト御自身なのです。秘跡を執行する人間はキリストのちからによってのみ洗礼を授けます。ここからして洗礼という秘跡が秘跡として有効に成立するためには、授ける側と受ける側においてキリストと教会が為すところのことを為すという意向があれば十分

の詩が紹介され、フランシスコの、「造られたもの皆、兄弟姉妹の思い」を味わうことが出来た。

他宗教を学ぶことによつて、「相手を理解し、自分を受け留める」「相手を尊敬し、自分のアイデンティティを確かにする」という関係を生きる存在としてのよい学びであったと感謝している。

「いま私たちの教会は何を、排除しているか」、その実情を把握し、自分の日常を点検することがねらい。寄せられた実例は、個人情報保護に配慮し、同セミナー等での分かち合いの素材として活用する。特定の個人や団体を対象とした批判や中傷と判断されるものは採用しない。

同部会では、この試みの趣旨を「主キリストに呼び集められた私たち」が、身近にある排除の実態に向き合うことから、「寛容さを備えた豊かな関係をつくっていくことが可能になる」とし、「あなたの声・叫びを聴かせてほしい」と呼び掛けている。

以下、「カトリック新聞」2018年1月7日付(4417号)より転載。

◆形式メール、ファクス、はがき・封書、いずれも可。
◆送り先「カリタスジャパン啓発部会」
✉ caritas@caritas.jp
☎ 03-5632-4464
〒135-8585 東京都江東区潮見2の10の106階。問い合わせのみ、☎ 03-5632-4439。

「排除のない多様性社会をめざして」というテーマに基づき、2018年度も開く国内3教会管区(東京、大阪、長崎)でのセミナーを前に、

福岡教区人事異動

- ()内は前任地 順不同
- 2018年1月31日付
- 4月8日までに着任
- ◆ロバート・ロビンソン師(オブレート会(教区外) 吉塚教会小教区管理者)
 - ◆マヘル・ウィリアムス師(オブレート会(水巻教会主任) 吉塚教会協働)
 - ◆オンダップ・ベルナルド師(オブレート会(吉塚教会主任) 古賀教会主任)
 - ◆古川健一師(オブレート会(吉塚教会協働) 古賀教会協働)
 - ◆青木悟師 水巻教会小教区管理者【教区本部事務局主管と教区会計を兼任する】
 - ◆イ・スンヒョン師(大江・崎津・本渡教会協働 水巻教会協働)
 - ◆キム・ジョングン師(今村・本郷教会協働) 大江・崎津・本渡教会協働)
 - ◆ピーター・ファン・グ・スアン・トアイ師(ドミニコ会(浄水通・茶山教会協働) 今村・本郷教会協働)
 - ◆シン・カンス師(大名町教会協働) 浄水通・茶山教会協働)
 - ◆茶山カトリック幼稚園副園長
 - ◆アンツァネッロ・ヴァレリオ師(聖ザベリオ宣教会(荒尾・玉名教会協力) 菊地・山鹿教会主任司祭代理)
 - ◆ピリスブッレ・ジュード師(オブレート会(古賀教会主任) 教区外)
 - ◆ステイブ・サヴァリムツトウ師(オブレート会(古賀・吉塚教会協働) 教区外)
 - ◆最頼巖流師(聖ザベリオ宣教会(菊地・山鹿教会主任) サバティカル研修)

訃報



A・テムペリー二神父 (ミラノ外国宣教会)

2月3日、心不全のため、佐賀温泉病院にて帰天。享年91。司祭生活66年。来日から61年。1926年イタリヤのベネチア生まれ。51年に司祭叙階、56年来日。横浜教区と福岡教区で司牧。福岡教区では、佐賀教会、鳥栖教会、鹿島教会、多久教会及び各幼稚園園長を務める。また、米国デトロイトの同宣教会小神学校の養育者、同宣教会日本管区長を務めたこともあった。2011年9月からは(社)福 聖母の騎士会ロザリオの園(佐賀県)のチャブレンを務めた。

やさしさの中にも厳しさを持ち合わせていたテムペリー二神父は、関係者から尊敬を受けていた。

- マリア・テレジア
- 村上 サダミ 修道女 (聖心のウルスラ宣教会修道会) 1月29日に帰天。享年99。 修道生活60年。
- テレジア
- 平田 マルエ 修道女 (シヨフアイユの幼きイエズス修道会) 2月16日に帰天。享年76。 修道生活52年。
- アウグスチヌス
- 牧山 忠治 修道士 (聖パウロ修道会) 1月23日に東京にて帰天。享年83。佐賀県馬渡島出身。2003年から07年まで福岡修道院院長を務めた。

【月例黙想会】
期日：①3月17日(土)17時～18日(日)15時
②4月21日(土)17時～22日(日)15時
指導者：染野治雄 神父(御受難修道会)
費用：8,700円(税込・指導料含む)
◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください
◆ただし、ホームページ休止中です。お電話でお問合せください。

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)
Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokusou.com

【奉献生活者のための黙想会】
①5月19日(土)夕～26日(土)朝
②6月23日(土)夕～30日(土)朝
③7月21日(土)夕～28日(土)朝
指導：①②来住英俊神父 ③染野治雄神父

PRAYER GROVE MUNAKATA

ミサ用ワイン

ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

2017年度の青年たちの歩み 一人ひとりが大切な存在

毎年、受難の主日に祝う「世界青年の日」。今年は3月25日。今年10月には「若者と召命」をテーマにしたシノドス(世界司教代表会議)があり、その準備会議が3月19日から24日までローマで開かれる。では、私たち教会共同体の青年は？ 福岡教区の青年の2017年度の歩みを紹介する。



福岡地区青年会の2017年新年会に集った青年たち

スポーツ交流会、歓迎会、新年会といった「交わり」の時、年3回の勉強会(性について、秘跡について、典礼について)、年2回の一泊黙想会などを企画した。

また、青年たちは中高生のために集いを企画したり、小教区で教会学校リーダーを務めたり、災害被災地や被災者のためのボランティア活動を行ったりと「奉仕」にも力を注ぐ。

青年の活動は主に「交わり」「学び」「奉仕」「証し」「祈り」に分類される。そして活動範囲は教会内と学校や社会、小教区から地区、教区、全国、全世界と多岐にわたる。そして、地区青年会として、有志グループとして、個人として様々な活動の形がある。

平和を語り合う集いや、聖書を黙想する半日黙想会など、有志グループによる企画もある。全国の青年の集いやアジア青年大会に参加する青年、また、JICAや日本カトリック信託宣教師会を通して、海外で活躍する青年も。一方、社会や教会で傷つき人と交わりを絶っている青年、複雑な家庭環境や劣悪な労働環境で苦しむ青年がいることも、見過ごせない現実だ。

よみがえった A・ハルブ神父のオルガンと天草の教会

90年前にA・ハルブ神父(パリ外国宣教会)が天草赴任時に持ってきた足踏み式オルガンの半世紀ぶりの修復披露演奏と鉄川与助が設計施工した教会についての講演会が2月4日、崎津教会(主任=渡辺隆義神父)で行われた。

天草3教会の信者をはじめ天草のボランティアガイド、市の関係者などおよそ100人が聴き入った。オルガン演奏は信徒の平石典子さんとタントゥム・エルゴなどハルブ神父の時代に歌われたラテン語の聖歌が数曲披露され、信徒たちも伴奏に合わせて「みもたまも」と「あめのきさき」を合唱した。

講演会では与助の孫にあたる鉄川進さんが建築家としての立場から与助の業績を紹介した。質疑応答では、「鉄川与助は崎津や大江の教会をはじめ、たたくさんの教会を建設しながらなぜ信者にならなかったのか」「建物としての崎津や大江の教会はあと何年もつのか」などの質問が相次いだ。また、「教会当時の苦勞がよくかかった」などの声も聞かれた。



「質問タイムでは、思い切った質問をぶつけたり、今までなんとなくタブーとされてきたような話をきくばらんに語り合っ、なんだかすっきりするよう、でも、もっともつと深めたい、そんな気分になる勉強会でした」(勉強会「性について」の参加者)

「質問タイムでは、思い切った質問をぶつけたり、今までなんとなくタブーとされてきたような話をきくばらんに語り合っ、なんだかすっきりするよう、でも、もっともつと深めたい、そんな気分になる勉強会でした」(勉強会「性について」の参加者)

2019年1月には世界青年大会パナマ大会もある。

ホームレス支援「スープの会」 連携で「いのちを守る」越冬期



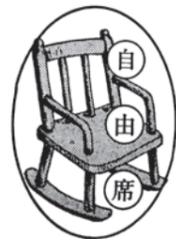
橋の下で暮らしていた方、この場が放火された

月2週目までの毎金曜日、炊き出し・夜回りを行っている。多くのボランティアが、活動を支える。調理には30代から80代の約15人が参加。主に女性信徒だが、毎回調理を手伝う男性の姿も。夜回りには中学生から80歳ぐらいまでの約100人、教派・宗派を超えて参加。全般的にカトリック信徒以外の方が多く、近年インターネットの情報をみての参加が増えている。

例年2月と3月に「NPO法人おにぎりの会」と協働して行う路上生活者のための支援活動「スープの会」。今年度は美野島司牧センター建て替え工事のため、12月から3

今年、K・マルセル神父(美野島司牧センター代表)の講話を聞いた女子高生や女子大生の参加が目立ち、いつもより華やかな雰囲気だ。そんな中、悲しい事件もあった。橋の下で犬と暮らしていた方が、救急搬送で入院。数日後、犬は保護されたが、その後暮らしていた場所が放火され何も無くなってしまった。おじさんは、退院後に犬と一緒に生活することを楽しみに闘病中だ。

また、障がいがある20代の若者が博多駅近くで3週間過ごした後、大名町教会に現れた。いろいろな話を聞き、福岡市の福祉関係との連携でアパートに入居することができた。スーパの会だけではできないことも、様々な関係団体と協働することで解決できることもあると感じる越冬期だ。(報告)大名町教会 前田由樹



金貞根神父様の初ミサに感激！
二日市教会 山口紀子

1月16日、大名町教会で金貞根神父様に「福岡召命を共に祈る会」と共に初ミサを捧げて頂いた。

金神父様は「昨年3月司祭に叙階されて今日まで、今村教会の竹森勇神父様のもと、ご指導を受け、本郷教会での生活、毎日食事作り、買物掃除、洗濯を一人でこなし、時にはギターをかかえて聖母園(老人施設)に行き、お年寄りに教えられ日本の歌を一緒に歌ったり、又、海の星保

◆原稿は4000字以内
◆投稿先…福岡カトリック司教館 教区報係り宛
FAX 092-523-2152
Eメール ccf.kouhou@nitty.com

カトリック福岡教区幼児教育連盟 園長総会 神様の子どものため

2月20日(火)午後、カトリック福岡司教館にて、カトリック福岡教区幼児教育連盟の園長総会が開催された。教区内の幼稚園、保育園、認定子ども園の園長が集まった(55園中の19園)。

議題は①司教区幼児教育連盟会計報告(2017年度決算報告と2018年度予算案)、②各地区より現状報告、③来年度の新役員選出。特記すべきは、来年度の新役員が決定したことである。会長は中村彰神父(西新カトリック幼稚園)、副会長は松永みか修道女(聖心ウルスラ幼稚園)と会計は東伸子氏(吉塚カトリック保育園)に決まった。現会長下町豊重神父は「神様の子どもたちと幼児教育連

育園で幼児と一緒に歌ったり遊んだり、大人気で楽しみに待っていてくれる。夜は広い田んぼの中の本郷教会で真っ暗な静かな環境に癒され元気を頂きます。司祭に叙階されたこと全てに感謝し、働きが神のみ旨にかなっていることを願って楽しく過ごしています」と話される。

ともとても明るく笑顔の素敵な金神父様。日本に來られ、言葉の壁、食べ物、習慣の違いなど、大変な苦勞を乗り越えられ、毎日を神と共に働きながら私たちをも楽しく元気にさせてくださいました。20年以上も歴史をもつ「福岡召命を共に祈る会」がこれからも長く続けていけることを願っています。



☆聖週間を生きる「毎日の黙想」
☆受難と復活の人物とともに
レナト・フィリピーニ著



さまざま状況の中で、聖週間の典ににあずかれない人々のために考えられた、受難の主日から復活節までの福音朗読箇所と黙想の導きを一についた祈りの手引書。この本を活用するために、次の読み方が勧められている。①福音の箇所を読み、その場面を想像する、②黙想の導きをゆっくり読み、沈黙の時間をもつ、③心に響いたことばや聖句を書き出す、④みことばにとどまり、一日を過ごす。

女子パウロ会発行
価格800円＋税



子どもたちが毎日、より聖書に親しむために、聖書の物語を偉大な聖人たちの言葉を用いて、深く味わえるように工夫がされています。家族やお友達と、聖書で祈るよろこびをともに味わって。サンパウロ発行
税込価格1944円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

年間目標

神のいつくしみをさらに生き、広めよう!

主にささげる 24 時間

「ゆるしはあなたのもとにあり」(詩編 130 章 4 節)

教皇フランシスコは、3年前から、四旬節第4主日に先立つ金曜日と土曜日を「主にささげる24時間」として、聖体礼拝とゆるしの秘跡によって神のいつくしみに触れるよう勧めています。今年テーマは「ゆるしはあなたのもとにあり」(詩編 130・4)です。カテドラル大名町教会では、この勧めに応じて、下記の通り、祈りの時を持ちます。

日時: 3月9日(金) 13時~10日(土) 12時
場所: カテドラル大名町教会 聖堂
プログラム:

- 9日(金)
13時 聖体顕示 教皇メッセージ
13時半 聖体訪問~
14時~16時 個別 ゆるしの秘跡
15時 十字架の道行
15時45分~18時 個別 ゆるしの秘跡
18時 晩の祈り、聖体賛美式
19時 ミサ
19時40分~21時 個別 ゆるしの秘跡
10日(土)
7時 ミサ
7時半 聖体顕示 聖体訪問~
8時~10時 個別 ゆるしの秘跡
10時~11時半 ロザリオ(教皇の意向で) 個別 ゆるしの秘跡
11時45分 聖体賛美式

福島家族支援「博多にきんしゃ〜い」講演会

日時: 3月10日(土) 13時半~15時40分
11時半よりミニ喫茶とバザー
13時半 福島家族支援活動報告
14時 講演 森山信三神父
場所: カトリック大名町教会 1階講堂
問合せ: ☎080・8392・7394 目良
※講演は自由献金。献金は全て福島支援活動に活用させていただきます。

感謝!美野島司牧センター 落成祝福式

皆様のお祈りと献金に支えられ、無事に「美野島司牧センター」の落成祝福式を行う運びとなりました。
日程: 2018年4月7日(土) 時間未定
場所: 福岡市博多区美野島 2-5-31
※引き続き、建替え資金の献金を受け付けています。送金先は教区報 2018年1月号、4面を参照ください。

福岡教区第53回ケルシリヨ開催

信仰を考え、祈りの時を持ちませんか!

日時: 5月3日(木) 10時~5日(土) 15時
場所: 福岡黙想の家(宗像市名残 1056-1)
参加費: 16,000円(宿泊、食事、事務用品等含む)
指導司祭: 染野治雄神父(御受難修道士)
W. マヘル神父(オペレート会)
問合せ: ☎/FAX 093・592・0316 徳永哲
※申込みは4月20日までに教会主任司祭にお送りしている申込み用紙、あるいは上記問合せ先の徳永まで直接ご連絡ください。

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

喜びのご復活を目標に、祈り・犠牲・愛徳の実行を!
編集後記
2018年4月号は通常より一週間遅い4月8日の発行となります。ご了承ください。
お知らせ
新規購読申込みも随時受け付けています。どなたかに送りたい気持ちもお届けできます。申し込みは教区広報室まで。上記メール宛または ☎092・522・4059

人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は
メモリーホール
業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
内科・歯科臨床研修指定病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
救命救急センター
地域災害拠点病院
*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日: 9:30~12:00
14:30~20:00
土曜: 9:30~15:00
休診: 日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930

案内板

会合と催し

3月のこよみ

性虐待被害者のための祈りと償いの日

2018年3月2日(金)

教皇フランシスコは、2016年、全世界の司教団に向けて、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けるよう通達しました。日本の司教団はこの呼びかけに応え、この日を「四旬節第2金曜日」と決めました。今年3月2日です。詳細は、<日本カトリック司教団メッセージ「性虐待被害者のための祈りと償いの日」の設定にあたって> https://www.cbcj.catholic.jp/2016/12/14/11033/ をご覧ください。

祝日「日本の信徒発見の聖母」 3月17日

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ: 優れた祈りを手本にして
日時: 3月8日(木) 10時~15時
内容: 聖アンセルモの祈り
指導者: フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)
問い合わせ先: 真命山諸宗教対話・靈性交流センター
次 回: 4月12日(木) 聖フランシスコ・ザビエルの祈り
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町崎浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時: 3月3日、24日、4月7日、21日
10時~11時45分
場所: カトリック大名町教会小聖堂

- 1日(木) 東光町起工式
2日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
4日(日) 四旬節第3主日 箱崎教会堅信式
↑E.グリフィン(2014年 手取教会)
教会行政法制委員会
↑ミカエル平田寛(2002年 門司教会)
8日(木) 常任司教委員会
9日(金) ↑W.カリー(2012年 手取教会)
11日(日) 四旬節第4主日 ↑L.グリッフィス(2013年 菊池教会)
13日(火) ↑M.ラバルタ(2015年 天神町教会)
16日(金) 久留米信愛女学院短期大学卒業式
17日(土) 日本の信徒発見の聖母(長崎の信徒発見記念日)
18日(日) 四旬節第5主日 老司教会堅信式
19日(月) 聖ヨセフ
21日(水) 司祭叙階式
22日(木) 若松天徳園保護者会
24日(土) 水巻聖マリア子ども園落成祝福式
25日(日) 受難の主日(枝の主日) 世界青年の日
28日(水) 聖香油ミサ
司祭叙階ダイヤモンド祝・金祝・銀祝
聖木曜日 主の晩さんの夕べのミサ
聖金曜日 聖地のための献金 主の受難の祭儀(宗法)幼稚園新任教職員辞令交付式・研修会
↑V.チェリッツァ(2005年 唐津教会)
31日(土) 聖土曜日 復活徹夜祭
【4月】
1日(日) 復活の主日 ↑J.クレハン(2008年 荒尾教会)
3日(火) 花祭り寺院表敬訪問(~4日)
↑A.アレグリーニ(2006年 ロザリオの園)
4日(水) ↑ペトロ黒川博(2002年 大牟田教会)
5日(木) 常任司教委員会
6日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
↑アウグ 片岡哲夫(2016年)

■ゴチックは司教日程

福岡

- ◆教区神学生養成部より「召命祈願ミサ」のお知らせ
(日時) 3月7日(水) 19時から(場所) 大名町教会
※叙階式に向けて、共に祈りを捧げましょう。どなたでも参加できます。
◆聖下ミニコ信徒会集會
(日時) 3月3・17日(土) 14時半から(場所) 箱崎教会(内容) 教会の祈り他(指導) アントニオ李神父(下ミニコ会)
(問合せ先) ☎092・651・3867 箱崎教会
◆師イエス祈り会
(日時) 3月9日(金) 10時30分(場所) 高宮教会・小聖堂(問合せ先) ☎090・7468・3631 西田
◆祈りの集い:「家庭の友」読書会(日時) 3月10日(土) 14時から(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(問合せ先) ☎092・541・3730
◆松山※家庭の友 持参
◆震災のための祈りのレトリック(日時) 3月11日(日) ミサ9時半から・夕の祈り(テゼの祈り) 時間未定(場所) 黒崎教会(問合せ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
◆福岡チエナクルム
(日時) 3月16日(金) 10時30分(場所) 高宮教会(問合せ先) ☎090・7468・3631 西田
◆レジオマリエ福岡アチエス(日時) 3月17日(土) 13時~16時(場所) 高宮教会(問合せ先) ☎090・9654・9969 日吉
◆虹の会(子どもを亡くした親の会)(日時) 3月17日(土) 14時~16時(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費) 500円(茶菓子代)(問合せ先) ☎090・1162・6395 柴田
◆カルメル在世会集會
(日時) 3月19日(月) 10時半から(場所) 福岡女子カメルル会修道院・テレサの家(内容) ミサ・講話「三位一体の聖エリザベツ」(指導) 九里彰神父(カルメル会)(問合せ先) ☎095・828・2350 鶴池
◆聖書に集う会
(日時) 3月20日(火) 14時~15時半(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階ホール(問合せ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
◆グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時) 3月20日(火) 11時から(場所) 聖クララ寮(内容) 四旬節のグレゴリオ聖歌ミサとベネディクション(問合せ先) ☎096・380・566

筑後

- ◆青年黙想会
(日時) 3月17日(土) 20時~21時(場所) カノッサ修道女会大牟田修道院
◆美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます! 建て替え中も活動は続きます。◆ホームレスの方に手作りのお弁当配布 毎週火曜日13時から13時30分 美野島公園◆ホームレス支援夜回り 越冬体制 3月2日、9日 金曜日 大名町教会(スープの会と協働) 14時豚汁・ゆで卵調理 20時夜回り(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父
◆北九州召命を共に祈る会
(日時) 3月8日(木) 14時から(場所) 小倉教会(内容) ミサと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井
◆テゼの祈り(一緒に神様に味わいましょう)(日時) 3月18日(日) 14時~16時半(場所) コングレガシオン・ド・ノートルダム仙水町修道院(対象) 女性信者(未信者も大歓迎)(参加費) 200円(お菓子代)(申込) 3月16日(金) 頃まで ☎093・871・1166 Sr.高橋(18時~20時) / メール cndmaja@yahoo.co.jp
◆小倉祈りの集い
(日時) 3月23日(金) 13時半~15時半(場所) 小倉教会信徒会館2階(指導) 牧山勝美神父(内容) みことばを味わう・賛美と感謝の祈り(問合せ先) ☎090・3985・5209 松田

北九州

- ◆「テーマ」十字架のイエス(対象) 青年キリスト者・求道者(参加費) 1500円(問合せ先) ☎0944・58・5793 Sr.大田※申込み3月10日まで
◆年間購読のご案内
個人で年間購読してください。さつている皆さま、新年度4月からの本紙発送について、変更がありましたらご連絡ください。
新規購読申込みも随時受け付けています。どなたかに送りたい気持ちもお届けできます。申し込みは教区広報室まで。上記メール宛または ☎092・522・4059